

産業振興財団

NEWS ニュース NEWS

平成21年(2009年)6月19日
 発行 明石市産業振興財団
 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
 (明石市立産業交流センター内)
 TEL:078-936-7915
 FAX:078-936-7916
 E-mail:info@aicc.or.jp
 http://www.aicc.or.jp

明石高専と連携協定を締結 ～市内企業の技術力向上を支援～

当財団と明石工業高等専門学校は、4月10日(金)に連携協定を締結しました。これまでも共に協力して市内企業の支援を実施してきましたが、このたびの厳しい国内景気悪化や企業間競争の激化の中で頑張る市内企業をこれまで以上に支援して行くことを確認し連携協定を結んだものです。その第1弾として電気情報工学科の教授陣による「シーケンス制御の基礎を学ぶ」講座(全4回)が5月16日(土)から明石高専を会場として始まりました。講座等を通じて市内企業の技術支援を行うだけでなく、今後、市内企業と絆をつよめ企業と高専の共同研究や製品開発にもつなげていければと思っています。



業名	内容	開催場所等
産業技術専門講習会	人材育成を目的に産業技術に関する専門的、実務的な講座を開催する。(年2回)	産業交流センター
親子で楽しむロボット教室	小中学生にものづくりへの興味を持たせ、将来のエンジニア育成を目的に、NHKロボコン出場のロボット操作実演、親子ロボット教室などを開催する。(1月)	産業交流センター
シーケンス制御の基礎講座	地域企業の技術的人材育成を目的に、基礎講座を開催する。(5月～、4回)	明石高専
機械加工講座及びCAD講座	平成22年度実施にむけて、実施方法等の検討を進める。	明石高専
ものづくりキッズクラブ	小学生高学年を対象とする「ものづくりキッズクラブ」の中で、ものづくり実習教室を開催する。(7月～11月)	産業交流センター 明石高専
明石テクノネットワークシステムへの参画	技術等の専門的な知識を有する機関等で構成するネットワークシステムに参画し、市内企業からの技術的相談に応じるなど協働して支援機関としての役割を果たしていく。	産業振興財団 明石高専
地域企業等との橋渡し	産・学の連携をめざし、高専と財団で、その橋渡しの役割を担っていく。	産業振興財団 明石高専

第32回理事会・第14回評議員会を開催 平成20年度の事業報告と決算を承認

産業振興財団では、5月27日に理事会と評議員会を開催し、平成20年度の事業報告と決算が承認されました。昨年度は、世界的な厳しい経営状況の中で、財団では、身近でできるだけ役に立つ情報の提供に力を入れてきました。毎月発送の「情報定期便」やインターネット活用の「明石ものづくり企業紹介」サイトの開設など新たな事業も展開してきました。

また、昨年10月には財団設立10周年記念事業として開催した「元氣あかし産業交流フェア」には、多くの企業の参加で盛大に開催し、市内企業の持つすぐれた技術や製品を市民にも知ってもらう機会にもなりました。

平成20年度の決算総額は、積極的な事業推進の一方で、人件費の削減などに努めた結果、事業費の総額は2億4,401万円で、前年度比97%となりました。



明石産業交流ミーティング（産業技術交流会）

講演：「途上国に橋を架ける」

APEC(AsiaPacificEconomicCooperation)
Engineer 技術士（建設部門）

安井 淳治 氏



明石高専卒業後、名神高速、新幹線等数々の橋梁計画、設計に携わり、海外事業部門に就いてからは、30カ国を越える国の道路、橋梁に関するプロジェクトに参加し、現在はカンボジア・メコン河での架橋調査中と聞いています。

世界に架ける技術、夢とロマンを築くお話をしていただきます。

また、講演終了後に第2部として、今後の地域産業の活性化などについて語り合う情報交換の懇談会も予定しています。ぜひご参加ください。

- 日時** 平成21年7月7日（火）
● 第1部／講演会…午後3時～
● 第2部／意見交換懇談会…午後4時30分～
- 場所** 明石市立産業交流センター 4階 研修室
- 参加費** 無料（ただし、第2部の参加者は2,000円）



明石テクノネットワークシステム連絡会議を開催

～ 今年度の企業支援を意見交換 ～

このシステムは、明石市内の企業が抱える、技術、経営、情報化などの問題を県下の専門的な支援機関や大学が協力・連携して援助・支援していくための組織です。

6月3日（水）に同システムを構成する14団体が明石市産業交流センターに集まり、各機関の今年度の取組みや市内企業の支援のあり方について意見交換を行いました。

当財団では、技術開発や大学との共同研究など様々な相談をお待ちしています。

支援機関及び対応分野

技術相談

- ◆人材育成 ◆技術・製品開発 ◆技術情報
- ◆試験・分析 ◆共同・委託研究

明石工業高等専門学校・技術者集団ACT135明石
神戸学院大学・神戸大学・兵庫県立大学
兵庫県立工業技術センター・未来ICT研究センター

情報・経営相談

- ◆人材育成 ◆IT化の推進
- ◆経営マネジメント ◆起業化

明石市産業振興部・明石商工会議所
兵庫県発明協会・兵庫県東播磨県民局
ひょうご産業活性化センター・ポリテクセンター加古川

ご利用下さい

企業活動を支援する各種の相談

産業交流センターでは、企業活動を応援するため3階相談室で各種の相談事業を実施しています。気軽にご利用ください。

【平成20年度の利用実績】

経営相談	282件
技術相談	30件
特許・商標相談	61件

経営相談

- 毎週 火～金曜日
 - 10:00～15:00
- 明石商工会議所協力

技術相談

- 毎週 火～金曜日
 - 10:00～17:00
- 明石テクノネットワーク協力

特許・商標相談

- 毎月 2・4土曜日
 - 13:00～16:00
- (社)発明協会兵庫県支部協力

「企業訪問2009」ご案内

明石市では、市内製造業事業所の技術的課題、人材育成に関する課題の解決サポート、明石工業高等専門学校（明石高専）他支援機関の利用促進を目的に、市内支援機関と連携し、企業訪問事業を無料で実施しております。

- 内 容**
- 各企業の技術者の方々と自由な意見交換
 - 企業における技術的な問題
 - 人材育成に関する相談
 - 明石高専・産業振興財団・技術者集団ACT135明石 他支援機関の事業紹介 など

訪問時期 平成21年9月～12月

明石高専、
産業振興財団、
技術者集団ACT135明石
利用で
ステップアップ!!



お申し込み・お問合せ

明石市産業振興部商工労政課

TEL : 078-918-5098 FAX : 078-918-5126

これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ(内容)	実施予定
神戸学院大学公開セミナー	決算書をどう読むか～財務諸表と財務分析～	7月2日
ものづくりキッズクラブ	ものづくりのおもしろさや大切さを感じてもらう連続講座	7～11月
明石発!発明発見展	発明のおもしろさや、ものづくりへの関心を高める	8月
専門技術講習	産業技術に関する、専門的、実務的な講座	9月

※上記のセミナーについては、広報あかし・情報定期便等で順次お知らせして募集していきます。

各種講座・セミナーの申込

(財)明石市産業振興財団

TEL : 078-936-7915 FAX : 078-936-7916 E-mail : info@aicc.or.jp

新しい科学・技術用語の解説 【電子線(X線)マイクロアナライザー】

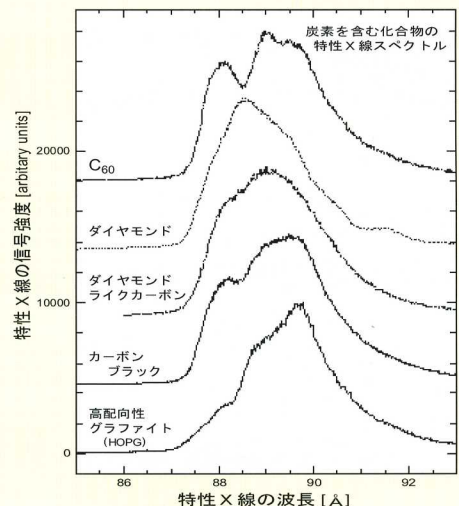
電子線(X線)マイクロアナライザー(EPMA: Electron Probe Micro Analyzer)は、走査型電子顕微鏡の一種で、汎用の電子顕微鏡に比べて分析性能に主眼を置いた表面分析装置です。

物質表面の微細な組織や構造などの観察だけではなく、電子線を照射すると発生する元素に固有な波長をもつX線(特性X線)を検出して、含まれている元素を分析(定性・定量分析)することができます。

また、元素分析を線または面で行うことで、元素がどのように分布しているのかを分析(線、面分析)することもできます。発生する特性X線を高精度に調べることで、元素の化学結合状態を分析(状態分析)することもできます。

水素、ヘリウム、リチウム、ベリリウム、超ウラン元素を除く全ての元素が検出できるため、鉄鋼、鉱物、半導体、セラミックス、繊維、医科歯科材料、医学、生物など非常に広範囲な基礎研究や応用研究、品質管理などに利用されています。

右の図は、炭素を含む様々な化合物の特性X線スペクトルの測定例です。同じ炭素の特性X線でも、炭素の結合状態の違いによりスペクトルの形状が異なることがわかります。EPMAはこれらの特長を活かし、触媒の劣化具合や変色・腐食の原因調査などにも利用される多様性のある装置です。



解説者:兵庫県立工業技術センター 機械金属工業技術支援センター 山下 満氏

株式会社 鍵庄

会社拝見 Vol.40

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：1977年創業以来、厳寒の明石海峡で最初に収穫される「一番摘み」だけを厳選し、独自の製法で丁寧に仕上げた明石のりを製造販売しています。肉厚でパリッとした歯ごたえと、新芽特有のとろけるような食感を持った良質の海苔は、地元で評判となり、その評判は明石にとどまらず、全国各地から注文をいただけるまでになっています。また、海苔の体に優しい秘められた力を求めて、国や県の支援を受けながら、細胞壁を破碎した超微粉末海苔や海苔の保湿成分であるポルフィランの開発・商品化を進め、化粧品や健康食品さらに一般工業製品などさまざまな分野に海苔の新しい可能性を開拓しています。さらにこれまで培ってきた微細化技術を基に「受託粉碎」を通して、食品および化粧品業界の新商品開発に貢献しています。

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：経営理念として、①「おいしい」を創造し、食卓に幸せを運ぶこと ②「快適さ」を創造し、生活に美と健康を運ぶこと ③「技術」を創造し、環境に豊かさを運ぶこと を掲げ、お客様と従業員が豊かさと喜びを実感できる新たな価値を創り続けるとともに、地域環境の維持・改善に貢献して参ります。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：「味付け海苔」「焼き海苔」については、創業以来原料素材・製法にこだわり、その伝統をかたくなに守り続けています。また、微粉末事業では、「熱の発生しない微細化プロセス」や「海苔に含まれている特定成分の抽出技術」などの斬新なアイデアを基に、最新の技術を駆使して、他社にはないユニークで有益な商品開発を行っています。

Q：「ものづくり」に対するこだわりについてお聞かせください。

A：昨今食品の産地偽装および安全性への不信感が広がる中で、安心を消費者に届ける生産活動を強化し、「明石のり」のブランドを大切にしています。従業員一人ひとりの想いとまごころをのり一枚一枚に込めて本物の美味しさを提供することを心がけています。一方技術開発では、同業他社の追従を許さない斬新でユニークな商品作りを目標に、海苔の持つ素晴らしい力を消費者の生活にお届けすることを心がけています。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：板海苔事業および微粉末事業を両輪として、地域オンリーワン企業を目指し、知性を活用する経営を通して、小さくても強い企業基盤を確立し、存在価値の高い企業に成長できるように従業員一丸となって努力して参ります。

本社所在地：明石市大久保町江井島1640-1
 資本金：5,000万円 従業員：50人
 本社工場：明石市大久保町江井島1640-1
 魚住工場：明石市魚住町中尾831
 ホームページ：http://www.kagisho.co.jp



代表取締役社長
入江 恵子 氏



本体外観



のりタブレット



のり石鹸

H20年度の利用実績

41事業に延べ約1万人が参加、約37万人が施設利用!

産業振興財団では、産業交流センターを拠点に産業交流、人材育成、情報提供、経営相談などの企業支援を行っています。

H20年度はセミナー・講演会など41事業を実施。施設利用者の実績は表のとおりです。

施設名	事業数	事業参加者(人)	施設利用者(人)
産業交流センター	34	5,799	185,104
勤労福祉会館	4	375	122,787
サンライフ明石	3	3,974	55,649
南二見会館	0	0	7,027
計	41	10,148	370,567

新着図書のお知らせ



タイトル	出版社
プロジェクトX 国産コンピューターゼロからの大逆転	宙出版
プロジェクトX ラストファイト名車よ 永遠なれ	宙出版
超速ビジネス文書作成マニュアル	日本能率協会マネジメントセンター
職場のメンタルヘルス対策の実務と法	民事法研究会
人事・管理職のためのメンタルヘルス・マネジメント入門	ダイヤモンド社
新公益法人になるための公益認定完全ガイド	学陽書房



3階の情報ライブラリーでは、来館者が自由に閲覧し、貸出できるように産業関係の図書やビデオソフト・DVD、雑誌を取り揃えています。